

温室効果ガス削減の「見える化」

「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、温室効果ガス削減効果を分かりやすく情報発信することで、消費者が地球環境に良い農産物を選択できる環境を整えていきます。

温室効果ガス削減「見える化」実証事業

- 温室効果ガス削減効果を星の数で表示（見える化）した農産物地域の慣行農法を基に設定されている標準値（都道府県別又は地域別）と比較した場合の、農地面積10aあたりまたは農産物10kgあたりの温室効果ガスの削減率が、5%以上は星1つ、10%以上は星2つ、20%以上は星3つとしています
- 令和4年度はコメ、トマト、キュウリ
※令和5年度（追加予定）
なす、白ネギ、ハウレン草、玉ネギ、はくさい、ばれいしょ、かんしょ、キャベツ、レタス、大根、ニンジン



どうやって減らしているの？

- ❑ 水田の効果的な水管理（中干し期間の延長）
- ❑ バイオ炭施用
- ❑ 化学肥料・化学農薬の低減
- ❑ 暖房等での化石燃料の使用削減



どこに行けば「見える化」ラベルのある商品を購入できるの？

詳細はこちら →
(農林水産省ホームページ)



令和4年度の「温室効果ガス削減見える化」実証の流れ

栽培データ取得・計算

<今年度の試算の流れ>

算定意向が有る生産者より、栽培データを入手。その県又は地方の通常の栽培と比較した相対削減率を算定。

<使用する栽培データ>

(以下のうち入手可能なもののみ)

入手不可の内容については標準値を使用)

- 収穫量、収穫面積
- 生産残渣の取扱(すき込みか焼却か)
- (水田のみ)中干しの状況
- バイオ炭(種類と施用量)
- 農薬、肥料、堆肥:使用量
- ハウス:サイズと素材
- マルチ:使用量
- 燃料・電力:消費量

温室効果ガス
-10%
達成!



ラベル表示(自己宣言)

削減率に応じて星の数が決定

(-5%以上で★1つ、-10%以上で★2つ、

-20%以上で★3つ)

生産者が指定する販売協力先において、ラベルとともに、削減達成の理由(栽培方法)を商品や、店頭・広告に表示する。

イメージ (チラシ)

トマト
600g

580円

栽培期間中化学農薬5割削減、木質バイオマスボイラーを使用することで温室効果ガス排出量が削減されています。

温室効果ガス
★★★
削減

イメージ (店頭)



<表示説明案>

温室効果ガス
★★★
削減

栽培期間中化学農薬5割削減、木質バイオマスボイラーを使用することで温室効果ガス排出量が削減されています。

QR

測定・検証 (認知度変化等の記録)

ラベル表示の効果についてアンケートにより検証

<検証内容>

認知の有無、
ラベル表示についての印象
(商品・販売店舗)
購入の有無、
今後の購入意思の有無

店舗ごとにデータを収集し、効果的な表示方法等について検討。

